

年 組 名前:

通りを照らす大たいまつ
の炎 富士吉田市内
(撮影・広瀬徹)



QRコード
から動画を
見られます



幻想的噴火鎮める炎

吉田の火祭り大たいまつ山本

400年以上の歴史があり、日本三奇祭の一つとされる「吉田の火祭り」が26日、富士吉田市上吉田地区で行われた。富士山信仰を支える「御師のまち」に並んだ100本以上の大たいまつが揺れ、幻想的な雰囲気醸した。北口本宮富士浅間神社での神事を済ませ、午後5時ごろに「明神神輿」と「おやま神輿」の2基が、神社を出発した。担ぎ手たちが威勢の良い掛け声を上げながら、上吉田コミュニティセンターに設け

られた「御旅所」を目指した。神輿が到着すると、国道139号（富士みち）に並んだ高さ約3m、重さ約200kgの100本の大たいまつに、奉納者が世話人のサポートを受けながら次々と点火した。火祭りは、富士山噴火を鎮めるための「鎮火大祭」とも呼ばれる。26日は「火山防災の日」で、会場では県が火山防災に関する普及啓発も行った。〈赤池悠〉

面 || 関連記事24面、写真特集17面

問1

400年以上の歴史がある「吉田の火祭り」は、

日本の何の一つとされていますか。

.....

問2

北口本宮富士浅間神社での神事を済ませて、

「御旅所」を目指した神輿名を教えてください。(2025年8月27日付 山梨日日新聞1面)

.....

問3

火祭りでは、何本のたいまつに点火しますか。

.....

問4

火祭りは「火祭り」以外に、なんと呼ばれていますか。

.....